

## 上智大生の バイト事情

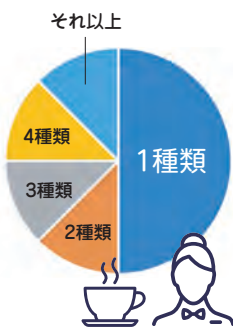
上智大学記者クラブ内でバイト事情についてアンケートを実施した結果をご紹介します。

<https://findsophia.jp/sophia-topics/20240301-parttimejob/>



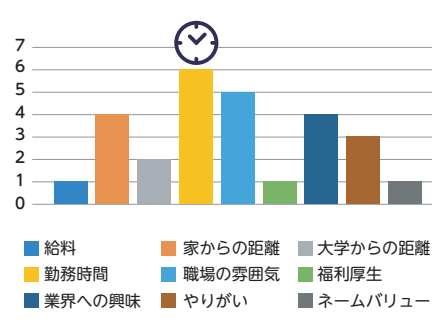
### Q1 何種類のバイトを経験しましたか

職種として多くあがったのが、カフェ等の飲食店や接客業、塾講師や家庭教師でした。また、大学付近にあるホテルニューオータニで働いている上智大生も非常に多く、給料が高いことや、通勤手当が厚いことから、非常に人気のバイト先の一つだそうです。



### Q2 バイト探しの際に何を重視しましたか

給料よりも勤務時間や家からの距離を重視する声が多く、課題や試験勉強に追われる大学生としては、自分の時間をどれだけ確保できるかが重要になってくるのかもしれない。また、回答していただいた方のうち、75%の方が学業とバイトの両立が難しいと考えていました。

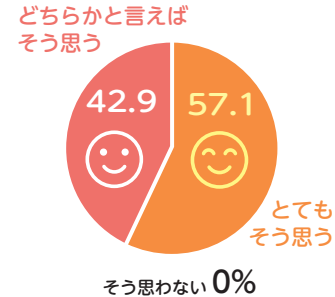


### Q3 バイトをしていて良かったと思えたエピソードを教えてください

「パン屋のアルバイトで、お客様から直接『美味しかった』と言ってもらえたこと」や「家庭教師をしていて、担当の生徒が引っ越しや進路の決定で授業を中断するかどうかという時、楽しいので最後まで続けたいと言ってくれたこと」というほっこりするエピソード、「塾講師のバイトで説明する力がついて、大学の授業などで話すことの抵抗がなくなった」、「欲しいものを自分で稼いだお金で買ったとき、とても達成感を感じました」など、自分の成長や達成感についてのエピソードが見受けられました。

### Q4 バイトをすることで、就職活動や将来の職業選択に役立つと思いますか

役立つと考える理由としては、「自分の得意・不得意を知れるから」、「大人とのコミュニケーションや、人と人との関わり方が学べるから」という声や、「やりたいと思って自分でやったその経験や、やりがいをもって取り組めたこと自体が将来につながる」、「就活で自分の自発性を示す上で、バイト経験がその裏付けになる」という声もあげられました。



## 上智のアパレル大特集！ 知ってますか？ ソジャー (ソフィアジャージ)

### Part1 1番人気！ソジャーとは

ソジャーとは、胸元に「SOPHIA」という文字と、中央に上智のエンブレムがあしらわれた、アパレルグッズのことを指します。デザインは誕生時から一切、変わらず愛され続けていて、正式名称は「ソフィアジャージ」。価格も2,700円でもとても良心的です。多い年では年間約3,000枚以上も売れている、大人気のグッズとなっています。



ソフィアジャージは2号館地下1階のパティネ・スポーツでご購入いただけます。

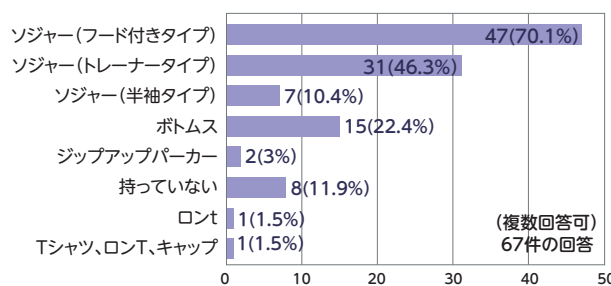


<https://findsophia.jp/sophia-topics/20231208-sophiajersey/>

### Part2 上智生へソフィアアパレル調査！

#### Q1 上智のアパレルを持っていますか？

やはり、フード付きのソジャーが人気 No.1！ 次いでトレーナータイプ。「SOPHIA」のロゴデザインが人気なようです。意外だったのは、ボトムスの人気の高さ。半袖タイプやジップアップパーカー、キャップなどイレギュラーなグッズを持っている方も！



#### Q2 どこで着用しますか？

もちろん着て行く先は大学が最多！ 次いで家が2番目でこの2つが圧倒的に上位でした。他には、近所などのちょっとした時から、ボランティアや部活の大会といった大学の代表として参加する公式の場など、幅広い回答が集まりました。場所を問わず使える点が人気の秘訣かも。

学生にも手が届きやすい価格、かつ暖かさや手軽さも得られて日常使いがしやすい点が大いようです。また、キャンパス内や大学のイベント時にみなが着ていることで仲間意識や一体感を得られるという、意識面の意見も非常に多かったです。デザインでは、SOPHIAのロゴデザインがおしゃれ、一見すると普通の洋服に見えるところが着やすい、知る人ぞ知るロゴとエンブレムに良さを感じるという意見がありました。



# 2024年度 上智大学 地域懇談会

〈東京会場〉当日プログラム	2
〈東京以外の会場〉当日プログラム 開催日程・会場一覧	3
四谷キャンパスマップ・施設案内	4-5
上智大学 News & Topics 2023 ~ 2024	6-11
コラム	12





Sophia University

# 地域懇談会

## 地域懇談会 プログラム〈東京会場〉 ※総合受付(2号館1階) 受付開始 9:30

東京A〈5/25〉 総合人間科学部・国際教養学部・理工学部

東京B〈6/16〉 法学部・外国語学部・総合グローバル学部

東京C〈6/30〉 神学部・文学部・経済学部

各プログラムの会場は、別紙をご確認ください

### I. 全体集会

10:20-11:00

理事長 挨拶 アガスティン サリ  
 大学長 挨拶 曄道 佳明  
 後援会会長 挨拶 米澤 実

### II. 就職・留学説明会

11:10-12:00

就職・留学に関して現在の状況や、手続き・スケジュールなどよく寄せられるご質問についてご説明いたします  
 就職・留学説明会に参加した上で、個別の面談をご希望の方は下記の場所・時間に個人面談の整理券をお渡しいたします  
**【整理券配布】: 12:40~13:00 2号館1階**

### 昼休憩

12:00-13:00

2号館5階の学生食堂をご利用ください。総合受付にてお渡しいたしました昼食券をご利用いただけます

### III. 学科別集会

13:00-14:00

学科の概要について、所属の教員からご説明いたします

### IV. 学科別懇親会

14:00-15:00

・教員やご参加のご父母・保証人の方々と直接お話しいただける機会ですので是非ご参加ください  
 ・飲み物とお菓子をご用意しております

### V. 就職・留学 個人面談/大学院説明会

15:00-16:00

- 就職・留学個人面談 ※当日整理券を受け取られた方が対象です
- 大学院説明会 (5/25)理工学研究科 地球環境学研究科  
 (6/16)地球環境学研究科 応用データサイエンス学位プログラム

## 地域懇談会 プログラム〈東京以外の会場〉 ※受付開始 12:30

### I. 全体集会

13:00-13:40

本学の教育方針や大学の近況について、大学長または副学長がご説明いたします  
 また、後援会役員から後援会についてご説明いたします

### II. 就職・留学説明会

13:40-14:30

就職・留学に関して現在の状況や、手続き・スケジュール、よく寄せられるご質問などについてご説明いたします  
 (四谷キャンパスでの説明会録画映像)

### 休憩

14:30-14:40

### III. 懇親会

14:40-16:20

お茶とお菓子をご用意いたします  
 教員やご参加のご父母・保証人の方々と直接お話しいただける機会ですので是非ご参加ください

## 開催日程・会場

開催地	開催日	申込締切日	会場名	大学からの出席予定者・対象学部
東京 A	5月25日(土)	5月10日(金)	上智大学 四谷キャンパス	総合人間科学部、国際教養学部、理工学部
仙台	6月2日(日)	5月17日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口	学術研究担当副学長、国際教養学部長
大阪	6月2日(日)	5月17日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪梅田新道	大学長、学務担当副学長、文学部長、経済学部長
札幌	6月9日(日)	5月24日(金)	TKP ガーデンシティ 札幌駅前	学生総務担当副学長、理工学部長
高松	6月9日(日)	5月24日(金)	高松国際ホテル	高大連携担当副学長、法学部長
東京 B	6月16日(日)	5月31日(金)	上智大学 四谷キャンパス	法学部、外国語学部、総合グローバル学部
新潟	6月22日(土)	6月7日(金)	ホテルオークラ新潟	グローバル化推進担当副学長、学術研究担当副学長
広島	6月23日(日)	6月7日(金)	TKP ガーデンシティ 広島駅前大橋	高大連携担当副学長、文学部長
福岡	6月23日(日)	6月7日(金)	TKP ガーデンシティ 博多	理事長、学務担当副学長、神学部長、理工学部長
静岡	6月29日(土)	6月14日(金)	ホテルアソシア静岡	学生総務担当副学長、総合人間科学学部長
長野	6月29日(土)	6月14日(金)	ホテル信濃路	大学長、経済学部長
東京 C	6月30日(日)	6月14日(金)	上智大学 四谷キャンパス	神学部、文学部、経済学部
名古屋	7月6日(土)	6月21日(金)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 名駅西口	理事長、グローバル化推進担当副学長、外国語学部長、総合グローバル学部長



# 四谷キャンパスマップ

## 地域懇談会 プログラム〈東京会場〉

5月25日(土):東京A  
 6月16日(日):東京B  
 6月30日(日):東京C

**学科別 集会**  
**学科別 懇親会**

2号館・6号館・12号館、他

※懇親会はアクティブ・コモンズも  
 使用する場合があります

詳細は別紙をご覧ください

**6号館 (ソフィアタワー)**

- ◆ 全体集会
- ◆ 就職・留学説明会 (1階 6-101教室)

**15号館**  
 (2023年度ウッドデザイン賞受賞)



**中央図書館**

地域懇談会の名札ホルダーを  
 お見せいただければ  
 当日ご入場できます



開催当日は、  
 北門と正門を  
 ご利用ください

開催当日は、  
 北門と正門を  
 ご利用ください



9号館中庭  
 (休憩スペース)



12号館地下 (休憩スペース)

**2号館**  
 総合受付 1階 (最初にお立ち寄りください)

- ◆ 就職個別面談会場 (キャリアセンター) 1階
- ◆ 学生食堂 5階
- ◆ 留学個別面談会場 17階 1701会議室
- ◆ 紀伊國屋書店・パティネスポーツ 地下1階



S-TERRASSE (Sテラス)  
 (1号館前広場)

施設営業時間	
● 紀伊國屋書店・パティネスポーツ	11:00-15:00
● セブンイレブン (12号館地下)	08:00-18:00 (5/25のみ19:30)
● 学生食堂 (2号館5階)	11:00-14:00

配布の昼食券のみ対応

キャンパス内に  
 ウォーターサーバーを  
 設置しています



このマークの  
 場所にあります



## 創立110周年記念イベント

～2023年上智大学は創立110周年を迎えました～

### 色とりどりの風船が一斉に空へ「バルーンリリースセレモニー」

2023年10月6日、環境に配慮した約200個の風船が上智大学の空に舞いました。晴天の中、学生局が110周年を記念して企画した「バルーンリリースセレモニー」には、観客も含め1000人以上の学生・教職員が集まりました。司会から「創立110周年を学生・教職員の皆さんでお祝いし、記憶と記録に残すために企画しました」と挨拶があった後、Sテラスにある初代学長ホフマン神父の胸像を囲んだ参加者全員でカウントダウンを行い、「ゼロ!上智大学110周年おめでとう!」の合図とともに、色とりどりの風船を一斉に空へ放ちました。大歓声が上がると、参加者は各々手を振ったりスマホで撮影したりするなど、風船が見えなくなるまで見守り続けました。ドローンで撮影されたこのセレモニーの様子は、広報グループ協力のもと、110年の歴史を振り返るトピックスとともに、記念動画として編集・公開されました。



110年の歩みを振り返る記念動画

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/aboutsophia/110th/>



## 大学の歴史に思いを馳せる特別メニュー「110周年記念洋食プレート」

「110周年記念洋食プレート」が2023年12月に、2号館学生食堂で提供されました。(販売価格: 400円)

プレートはさまざまな洋食メニューが盛り付けられ、SOPHIAの文字とソフィアくん柄の「上智大学110周年記念キャンディー」のおまけもつく豪華な内容となりました。メニューの考案にあたっては、学生センターとソフィア・アーカイブズの職員が過去に学食で提供されたメニューを調査し、食堂業者と学生も交えた試食会での感想や意見を参考に、かつては鉄板焼きを提供する学食やパスタ屋があったことにちなみさまざまな洋食を盛り合わせた今回のメニューに決定しました。

特別メニューは初日から券売機に行列ができ、1日限定100食がすぐに完売しました。このメニューの売り上げから1食につき110円が国内外への援助活動を行っているカリタスジャパンへ寄付されました。



試食会でメニューを考案する学生



実際の「110周年記念洋食プレート」

## 留学生・高校生との交流「上智大学110周年記念研修」

2024年2月11日から12日に上智大学110周年記念研修を開催しました。参加した本学学生及び留学生は、神戸市立博物館で聖フランシスコ・ザビエル像を見学し、今年100周年を迎える阪神甲子園球場ツアー、京都妙心寺春光院での南蛮寺の鐘の見学、妙心寺退蔵院での精進料理などさまざまな体験をしました。ゲストに同じく上智学院の六甲学院の高校2年生を迎え各日総勢24名で楽しく京阪神を巡りました。



甲子園球場を見学



妙心寺春光院前にて

## サステナビリティに関する取り組みへの学生の参画

### フランス発祥の視覚障害者スポーツ 啓発イベントを日本で初めて開催

2024年5月12日、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しめる環境づくりと、競技普及を進めようとするイベント「セシツアートウキョウ (CÉCITOUR TOKYO)」が上智大学を会場に開催されました。

アイマスクをつけてボールの音と声のコミュニケーションで行うブラインドサッカーや手を組んだ状態から技を掛け合うブラインド柔道の体験会、音楽パフォーマンス、パラアスリートのトークショーなどが行われました。「セシツアール」はパリ・パラリンピックに向けた準備段階のプログラムに認定されており、フランス各地で過去6回行われましたが、国外では日本が初めての開催です。当日の運営は学生団体「Go Beyond」が中心となり、運営スタッフ103名のうち65名を学生が占めました。



学生が主体となりイベントを運営



ブラインドサッカー体験



全盲ドラマー酒井 響希氏によるパフォーマンス

## アフリカWeeksの運営

上智大学では、多様なグローバル・イベントを積極的に実施しています。中でも、アフリカ地域への理解を促進し、連携を深めていくためへの取り組み「上智大学アフリカ Weeks」は、2017年に始まり2024年で8回目の開催となります。このイベントの魅力のひとつは、教職員だけでなく「アフリカの魅力を伝えたい!」と熱意のある学生が集まり、企画の運営に携わっている点です。企画立案や関係者との交流を通して、学生自身のアフリカ理解を深め、今後の活動に活かしてもらおうとともに、大学の公式行事として実施することで、学部学科を越えた協働を実現しています。



<https://findsophia.jp/find-sophia/9294/>



<https://findsophia.jp/find-sophia/9311/>



### 参加学生の声



私はGreen Sophiaという環境サークルに所属していて、環境問題に興味がありました。気候変動などについて知識を深めていく中で、アフリカ地域でその被害を受けるケースが多いと知り、次第にアフリカという地域にも興味を持つようになりました。ネットなどで調べるよりもなるべく直接的に関わることが大事なのではと考えました! (英語学科)



アフリカが大好きでアフリカに知見があるので、学生視点で企画内容を提供することに魅力を感じ、昨年に続き参加を決めました。(総合グローバル学科)



高校1年生の時にマダガスカルに渡航したことをきっかけにアフリカ沼にどっぷり浸かったことがきっかけです。アフリカの多面性、魅力をたくさんの人に知っていただきたく参加しました。(総合グローバル学科)



高校生の頃からアフリカに興味を持っていて、タンザニアについて研究した時に JICAの青年海外協力隊で渡航した方から直接お話を伺う機会もあったため、またアフリカについて学ぶ機会があれば良いなと思っていたので参加しました。(総合グローバル学科)



## サステナビリティに関する取り組みへの学生の参画

### 12号館地下休憩スペース改修

12号館地下のセブンイレブンに隣接する地下休憩スペースが新しくなりました。学生が昼休みや講義の合間の休憩で利用します。改修においてはSDGsを意識した空間作りを目指し、9号館の中庭や1号館前のS-TERRASSEに続いてサステナビリティ推進本部の学生職員もコンセプト作りに関わりました。改修前の課題として、地下に位置し薄暗いこと、車いすユーザーが利用しづらいことがありました。そのため、明るく爽やかで、車いす利用者をはじめとて様々な人にとって利用

しやすい空間となるよう、①上智らしさ、②SDGs・D&I要素、③多様なニーズに応える空間、の3つをコンセプトとして学生職員が提案し、環境整備グループ、改修業者と協働してプロジェクトを進めました。その結果、1人でも複数でも利用でき、車いすユーザーも利用しやすい高さの机、FSC認証を受けた木材を使用した什器、海洋プラスチックごみを再利用した椅子など、環境にも人にも優しい休憩スペースが出来上がりました。



改修前



改修後



改修前



改修後

## 産学官連携協定によるエコ・スタディツアー

2023年9月に上智大学、宇検村、日本航空、伊藤忠商事の4者が締結した宇検村における環境保全・地域振興に関する産学官連携協定に基づく取り組みの第一弾として、3月14日から17日の日程で、奄美大島・宇検村の自然と文化、そしてマングローブ植林を体験するエコ・スタディツアーを実施しました。伊藤忠商事の社員とご家族13名と、上智大学の学生7名の合計20名が参加しました。参加者は奄美大島の歴史や島唄の伝承について学んだほか、マングローブ植林作業

や村内の名所見学を通じて、宇検村の自然と文化に触れました。参加した学生からは「日本航空との連携講座を受講した際に宇検村の観光事業を提案したことをきっかけに、実際に村を訪問したいという想いが強まり参加した」「宇検村の方々、伊藤忠商事の社員の方と交流できたこと、現地の文化、自然や食にも触れることができ、充実した4日間だった」などの声が寄せられました。

<https://sophia-sdgs.jp/efforts/5143/>



## SSIC企画による留学生との交流

SSIC(Sophia Student Integration Commons)では「学生同士のコミュニケーションを促進すること」を目的として、さまざまなバックグラウンドの学生が日本文化の理解と学生同士の交流を深めるスタディツアーを企画・運営しています。華道部、茶道部共催の「華道体験」や「茶道体験」、本学職員とお昼を食べながら日本語で会話を楽しむ

「日本語ではなそう」などのSSIC内で開催するイベントや、学外での「農業体験」、長期休暇を利用した「広島ツアー」など、学生同士の交流を軸にした体験型の企画も開催しています。SSICでは、学生同士の交流がより一層活性化するような機会を提供することを目指しています。



<https://findsophia.jp/ssic/>



広島研修での広島風お好み焼き作成体験



茶摘み体験ツアー



国技館での大相撲観戦

## カトリック高校との高大連携協定の締結

本学では、カトリックの教育理念のさらなる深化を図るべく、相互の教職員、学生・生徒の交流・連携を通じて、より魅力ある大学・高等学校づくりを推進することを目的とした「上智大学・カトリック高等学校連携協定」を52校との間に締結しました。

連携協定の締結により、両校の学生・生徒との協働学習などを通じて、双方の教育理念の実現を強く推進するとともに、より魅力ある大学・高等学校となるよう取り組んでまいります。

連携の具体的な内容は他に、大学・入試説明会、講演会、模擬講義、キャンパス見学の受け入れ、サマープログラム、国内外のスタディツアー、教員研修の実施などを都度計画、実施いたします。



カトリック高校連携校の生徒が参加したタイ・スタディツアー

## キャンパス外で社会課題に触れて学ぼう!

### Sophia Dormitory Study Tour

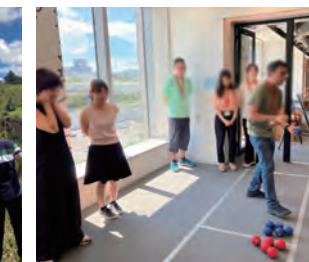
直営寮では、教育プログラムとして「Sophia Dormitory Study Tour」を開催しています。これは、SDGsや社会課題に取り組む現場に赴き、現地での体験や人との触れ合いを通じて寮の仲間と課題解決を探求し、リーダーシップ、コミュニケーション能力、行動力等、将来役立つスキルを身に付けられる日帰りツアーです。直営寮では留学生も多く暮らしているため、ツアーは日英両言語で行われます。



湘南の海でSDGsの本質理解・実践



持続可能な「循環型農業」を学ぶ



バラスポーツ体験

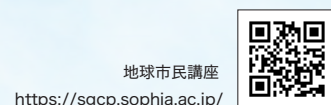
<https://findsophia.jp/find-sophia/8498/>





## Sophia Future Design Platform 推進室の設置

2023年7月、学事局に新たな部署として「Sophia Future Design Platform推進室」を設置しました。ここでは、学びを志す多様な立場の人に多層的な学びの場を提供することを目的としています。ビジネスパーソンが教養としての国際通用性や創造性を発揮するための実践智を学ぶ産学共同プログラム「プロフェッショナル・スタディーズ」の運営に加え、2024年4月に開講した新たな公開講座「上智地球市民講座」、本学学部生対象「アントレプレナーシップ養成講座」、カトリック連携協定校向け「タイ・スタディツアー(春・夏)」などの運営を行っています。



## 応用データサイエンス学位プログラム開設

2023年4月にデータサイエンスを実践的に学び、データを読み解き、課題を解決し、新たなビジネスに応用・展開する力を身につける大学院「応用データサイエンス学位プログラム」(修士課程)を開設しました。本学3つの研究科(経済学研究科・理工学研究科・地球環境学研究科)の専任教員と、特にビジネスの現場においてデータサイエンス

の実務経験豊富な実務系教員が協働し、教育を行う点が特徴です。受験・入学にあたって、出身学部の分野や履修科目などの指定、職務経験などの要件は設定せず、多様なバックグラウンドを持つ学生を受け入れます。授業は平日夜間を中心に開講し、社会人も学びやすい環境を用意しています。

## 世界で最も影響力のある研究者トップ2%にランクイン

スタンフォード大学とエルゼビア社が2023年10月4日に更新・発表した世界のトップ2%の科学者を特定する包括的なリスト「標準化された引用指標に基づく科学者データベース(更新版)」に、本学の理工学部から9名の教員がランクインしました。

このランキングは、Scopus引用データベースに基づき、22の科学分野と174のサブ分野に分類され、少なくとも5つの論文を発表している世界中の科学者を対象とし、論文が多く引用された上位2%の研究者を選出するものです。このランキングにランクインされたことより、

本学の理工学部では世界に評価される高いレベルのユニークな研究が実施されていることがわかります。

ランクインした研究者の研究内容には、熱ストレスに強い植物の作成を目指す研究や、これからの新しいエネルギーに関わる研究など、サステナビリティを強く推進する上智大学らしい研究も評価されています。今後も多彩な研究テーマと多様なアプローチにより、上智大学の個性を、研究活動を通じて発揮し、世界の社会課題解決に資する研究を推進していきます。

### アンケートご協力をお願い

本日はご参加いただき、ありがとうございます。  
今後の地域懇談会の改善等に役立てるため、以下のリンク先よりアンケートへのご回答をお願いいたします。  
ご参加のプログラムに関わらず、皆様からのご回答をお待ちしております。

〈アンケートご回答先〉 <https://forms.office.com/r/58bvqYzirC>



## 上智学院の責任投資(ESG投資)の取り組み

「For Others, With Others」「Sophia – Bringing the World Together」という上智の教育精神や建学の理念を反映した形で資産運用を実践するために、責任投資(E:環境、S:社会、G:ガバナンスを考慮した投資)に取り組んでいます。教育精神や建学の理念は、教育・学術研究にとどまらない上智のあらゆる活動の根幹をなすものであ

り、加盟している「国連グローバルコンパクト」や「国連責任投資原則(PRI)」に基づき、社会的リターンと投資リターンの両立を目指し、資産運用を通じて地球規模の環境問題・社会課題の解決に貢献し、持続可能な国際社会造りに繋がるよう取り組んでいます。

## 国連責任投資原則(PRI)の年次評価(2023年)

～すべての項目で最高評価「5つ星」を獲得～

上智学院は国連責任投資原則(PRI)の2023年次評価で、評価対象となる全ての項目で最高評価となる「5つ星」を初めて獲得しました。PRIの署名機関は、毎年各分野の取組状況に関する報告書をPRIへ提出する義務があり、その報告書を元に、PRIが署名機関の実施状況等を評価します。具体的には分野毎の得点に応じて5段階で評価が付与され、「5つ星」が最高評価となります。

上智学院では、投資判断においてESG課題を考慮することが、長期的な投資収益の改善のみならず、資本市場の健全な発展と持続可能な社会の実現に貢献するものと考え、ESG投資に取り組んできました。今回の評価は、これまでのPRIからの評価結果を踏まえ、責任投資活動の改善に努めた結果であると考えています。

	ポリシー・ガバナンス・戦略	外部委託運用(選定、指名及びモニタリング)						信頼醸成
		上場株式(パッシブ)	上場株式(アクティブ)	債権(アクティブ)	プライベートエクイティ	不動産	インフラストラクチャー	
本学評価	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)	★★★★★(5つ星)
本学スコア	96	100	100	100	100	100	100	100
中央値	★★★(3つ星)	★★★(3つ星)	★★★(3つ星)	★★★(3つ星)	★★★(3つ星)	★★★(3つ星)	★★★★(4つ星)	★★★★(4つ星)

## 投資事例の紹介(2023年度に新規投資したもの)



世界銀行(IBRD)のサステナブルボンド



アジア開発銀行のウォーターボンド



グローバル農地戦略ファンドへの投資